



胆沢平野・水稻の穂ばらみ期を守り抜く

～平成6年と同程度の厳しい渇水を胆沢ダムで乗り切りました～

胆沢ダム流域は平成6年以来、20年ぶりの大きな渇水に見舞われました。胆沢平野は県内有数の穀倉地帯で有り、稲作で最も水を必要とする「穂ばらみ期」を胆沢ダム(管理開始2年目)により乗り切る事ができました。

平成6年は石淵ダムが7月下旬に取水不能となり、胆沢平野で延べ52日間に渡る「番水制」を強いられ、消防車による散水作業などを行いましたが、用水が行き渡らない地域では、水稻の立ち枯れ被害などが発生しました。

今年度の胆沢ダム流域の降雨は、過去5年平均を下回り、特に8月(21日まで)は渇水被害が生じた平成6年と同程度の降雨状況でした。

■胆沢ダム流域の降雨状況

過去、5年平均雨量を下回り、特に8月(21日まで)は平成6年と同程度
[8月流域平均雨量(月)]

- ・5ヶ年平均 188mm
- ・平成6年 106mm
- ・平成27年 112mm(21日迄) ※5ヶ年平均の59%(同月比)

■もし石淵ダムであった場合、平成6年渇水と同程度の被害が想定

石淵ダムで胆沢ダムと同様の補給を行っていたら、7月上旬で補給不能
[石淵ダムと胆沢ダムの違い]

- ・(洪水期)利水容量:石淵ダムに対し13倍ある。(石淵6,360千m³、胆沢81,000千m³)
- ・平成27年は胆沢ダムにより、平成6年渇水時の約5倍の水量を補給し、稲作で最も水を必要とする大切な「穂ばらみ期」を乗り切った。
(8/21までに東京ドーム約60個分をダムから補給)

《発表記者会:岩手県政記者クラブ、奥州市政記者クラブ》

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所
〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地

副所長 スガワラ ヒロヒコ 菅原 裕彦 (内線 204)
(代表TEL:019-643-7831)

北上川ダム統合管理事務所 胆沢ダム管理支所
〒023-0403 奥州市胆沢区若柳字横岳前山6

支所長 スズキ マツオ 鈴木 松男 (内線 6121)
(代表TEL:0197-49-2981)